

2021年1月更新

次世代Google アナリティクス4のこと

2020年10月14日に次世代のGoogle アナリティクスである「Google アナリティクス4 (以下、「GA4」)」が発表されました。ここで簡単に、GA4のこと、それから本書で扱う旧来版の「ユニバーサルアナリティクス」との違いについて説明します。

本書での対応について

本書は、旧来のバージョン「ユニバーサルアナリティクス」の説明を行っています。次世代GA4の発表以降、新規でサイト計測を開始する際に、自動的にGA4版の計測画面が作られてしまうので、本書は、ユニバーサルアナリティクス版の作成もあわせて行えるよう、「Lesson 3-1」の設定部分を加筆しました。

次世代版Google アナリティクスが生まれた背景や主な変更点

2009年頃から改築を重ねて使われている「ユニバーサルアナリティクス」版は、当時のウェブサイトの主流だった「ユーザーがページを紙芝居のように次々開いて情報を得る」ユーザー行動を主軸に計測設計されていました。しかしそれから10年以上経った今、スマートフォンの広がりやウェブサイト制作の技術の進歩とともに、スクロール、ボタンクリック、ダウンロード、動画再生、アプリ計測など、ページ遷移に依存しない多様なユーザー行動もページ遷移と同等に主要なユーザー行動となりました。旧来版では「ページビューだけは自動で取れるが、ほかのユーザー行動は（本書Chapter 6で説明する）『イベント設定』というカスタマイズが必要でした。一方、GA4では、上記の課題を解決するため、計測の単位を「イベント」に統一し、主要なユーザー行動は自動で計測できるようになりました。アプリとウェブ版でのレポートの違いもなくなりました。

また「Lesson 2-3」にて説明している「セッション」の定義変更がありました。今まで馴染みが深かった指標「直帰（1ページだけ見てサイト離脱）」がGA4ではなくなっています。ページビューに依存していた直帰率の代わりに、新たに「エンゲージメント」という指標が生まれました。エンゲージメントは『サイトへの愛着』というような意味合いです。

1回の訪問で「2回以上のイベントが発生」「サイト訪問から10秒以上経過」「コンバージョンイベントが発生」のいずれかを満たした場合に、その訪問で「エンゲージ」したとカウントします。直帰率と逆のような指標ですが、よりユーザーがサイトの内容を見たという観点から生まれた指標となっています。

その他にも、「Lesson 8-2」で説明する中級者向けのセグメントという分析機能が、別画面に切り出されました。集計用のレポート群と、分析に特化した「分析ハブ」という風にメニューも変わっております。サイトを分析し改善していく人にとっては、より本格的な機能が用意されたとも言えるでしょう。

これら変更等によりレポート画面やメニュー構成もユニバーサルアナリティクス版とは大きく変わりました。上級者向けには、これまで有料版のGAのみに提供されていた、集計される前のデータを格納できるGoogleのクラウドサービス「BigQuery」に無償対応したのも大きな変化です。

GA4はまだ発展途上

このようにGA4はサイト担当者にとってより便利で使いやすくなると考えています。しかし、リリース直後という事もあり、実装や設定方法には定期的に変更が入っており、情報収集と理解の難易度も高いです。例えば2020年12月時点では、以下には対応していません。

- (本書Lesson 7-4の) **Google Search Consoleとの接続**
- (本書Lesson 9-2の) **Google データポータルとの一部項目の接続**
- (本書Chapter 10の) **GAIQのような知識レベルを証明できる資格試験**

今後Google社によるアップデートでこれらは解消されていく可能性は高いです。しかしまだその対応時期は見えていないため、性能が安定している旧来の「ユニバーサルアナリティクス版」を使い続けていくメリットは大きいです。ユニバーサルアナリティクス版が早急になくなることは想定しにくいです。

そこで、みなさんが気にされている「どちらを使えばよいの？」という疑問にお答えします。

旧版と次世代版、一体どちらを使えばよいの？

1. 新規でサイト計測を始める方

新規でサイト計測を始める方で、「正確なデータを測って会社に説明しなければならない」などの説明責任がある方は、本書で扱うユニバーサルアナリティクス版を必ず立ち上げましょう。性能も安定していますし、書籍やインターネット上のヘルプも充実しています。もし興味があれば、1～2年後の変化に備えてGA4の計測も行っておきましょう。最初の設定時に両方とも同時に作り、双方で計測する事が可能です。ただ双方の設定が必要になり工数は増えるのでユニバーサルアナリティクス版を優先してください。

「趣味で個人のサイトを作っている」などで説明責任がない方や新しいものに挑戦してみたい方は、GA4を積極的に活用してみてもいいでしょうか。何年後かはわかりませんが、いずれGA4が主流になることは間違いないので、今のうちに活用してみましょ。

※本書ではGA4の立ち上げのサポートは行っていませんので公式ヘルプなどを読んで設定をお願いします。
<https://support.google.com/analytics/answer/10089681>

2. 現在「ユニバーサルアナリティクス版」を使っている方

GA4への強制移行はなく、旧来版には一切影響がありません。これまで通りお使いいただく事が可能です。

ただし今後ユニバーサルアナリティクスのアップデートはなくなっていくと想定されますから、旧来版を使う場合でも別途Google アナリティクス4のプロパティ（別の計測用の箱）を作ってデータを送っておくのがよいでしょう。2021年～2022年頃にGA4の性能は安定してくるだろうと思われますので、それまでGA4でデータを溜めておいたり、GA4の画面を覗いて慣れておいたりするのもよいでしょう。

それでは、早速「ユニバーサルアナリティクス版」の勉強をはじめましょう！